

研究課題：外来化学療法を受ける患者の待ち時間短縮に向けた取り組み～採血から点滴穿刺までの待ち時間短縮を目指す～

研究期間

データ収集期間：2017年10月31日～2018年3月31日

データ分析期間：2018年4月1日～10月末日

研究機関：地方独立行政法人 市立吹田市民病院 看護局 点滴センター

目的

2010年に外来化学療法を設立し、8年が経過した。外来化学療法患者は、採血後外来化学療法室で問診を受けたあと、採血結果が出しだい診察、その後化学療法実施となる。

採血室では、他の患者との区別なく受付した順番制であり、曜日によっては、採血までの待ち時間が30分以上や、採血結果も1時間以上かかることもあり、診察までに時間を要することが多い。

過去には、外来化学療法患者の優先的な採血実施を検査室に協力依頼もしたが、この趣旨に賛同を得られなかった経緯がある

今回、外来相互応援の中で、救急当直や各部署の応援を受け、点滴センターで外来化学療法患者の採血を看護師が行うことで、外来化学療法を受ける患者の待ち時間短縮と今後他職種連携として検査室や医師とも協働で行える足がかりとすることを目的とする。

方法

対象期間：2017年10月1日～2018年3月31日

（採血室 2017年10月1日～12月28日

点滴センターでの採血 2018年1月4日～3月31日）

対象患者：当院で外来化学療法を受ける患者 延べ1100人

採血から点滴穿刺までにかかった時間

（採血：カルテ上の採取時間を示す 点滴穿刺：カルテ内外来化学療法チェックリストの穿刺時間を示す）

方法：①検査室での通常採血

②点滴センター内で看護師が採血し、検査室まで検体を提出する。

①②の採血～点滴穿刺時間を比較分析する。

（採血：カルテ上の採取時間を示す 点滴穿刺：カルテ内外来化学療法チェックリストの穿刺時間を示す）

意義

外来化学療法を受ける患者の待ち時間が短縮されることで、待ち時間に対する精神的苦痛の軽減を図り、患者のQOLが向上する。

個人情報保護

本研究では、患者のカルテなどから採血時間や点滴穿刺時間等のデータ収集を行うため、研究対象者のプライバシー保護のため研究の意義や目的、方法、匿名化の確保を行い、研究結果をインターネットのホームページ上、点滴センターに張り出すようにします。研究のため、知れた個人情報は院外に持ち出さず、記録物と合わせた施錠可能な場所に保存します。

データは個人情報が特定できないようにします。また本研究でのみ使用し、研究終了後5年間保存し、その後個人情報に留意し破棄します。研究結果は実践報告として発表することもあります。その際も個人情報が特定できないように対処します。当院倫理審査委員会の承認を得ます。

問い合わせ先等の連絡先

地方独立行政法人 市立吹田市民病院 点滴センター

責任者：河合 紀子 代表者：本田 ゆみ子

住所 〒564-0082

大阪府吹田市片山町 2-13-20

電話 06-6387-3311